

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL: 022-297-5196
FAX: 022-297-5198
発行責任者: 村上 良智
編集責任者: 吉野 康平

通建連合『一斉安全休工日（11月）』

実施結果について

今年度における通建連合「一斉安全休工日」の取り組みについては、各職場における安全衛生委員会の場で協力要請は勿論のこと、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

11月9日（土）の結果を踏まえ、今年度の実施結果は以下のとおりです。

TTKグループ	休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）	年間平均実施率	
11月	業務区分割合	132	96 (72.7%)	36 (27.3%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	2355	2234 (94.9%)	121 (5.1%)	0 (0%)	100%	
9月	業務区分割合	132	98 (74.2%)	34 (25.8%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	2413	2290 (94.9%)	123 (5.1%)	0 (0%)	100%	
7月	業務区分割合	132	102 (77.3%)	30 (22.7%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	2404	2304 (95.8%)	100 (4.2%)	0 (0%)	100%	
6月	業務区分割合	131	97 (74.0%)	33 (25.2%)	1 (0.8%)	99.2%	
	人数割合	2375	2261 (95.2%)	112 (4.7%)	2 (0.1%)	99.9%	
大和グループ	休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）	年間平均実施率	
11月	業務区分割合	54	20 (37.0%)	34 (63.0%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	1060	901 (85.0%)	159 (15.0%)	0 (0%)	100%	
9月	業務区分割合	54	23 (42.6%)	31 (57.4%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	1057	911 (86.2%)	146 (13.8%)	0 (0%)	100%	
7月	業務区分割合	54	26 (48.1%)	28 (51.9%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	1056	959 (90.8%)	97 (9.2%)	0 (0%)	100%	
6月	業務区分割合	55	28 (50.9%)	27 (49.1%)	0 (0%)	100%	
	人数割合	1037	936 (90.3%)	101 (9.7%)	0 (0%)	100%	

11月の一斉安全休工日では、読替を含む実施率が100%となりましたが、当日実施については昨年より減少している領域が多かったのが実情です。読替実施となった理由については「業務繁忙」と「保守・保全・設備運営」が主となっており、社員区分で見れば「協力会社」の方が半数以上読替をしている結果となりました。

年間を通して、読替実施となった理由の多くは「業務繁忙」となっており、年度末の繁忙期に向けて、職場の体制整備を含めた皆が休める職場環境作りが必要であると判断します。心身共にリフレッシュを図って安全労働に繋げるため、本取り組みを継続して行っていくことから、皆様のご協力をお願いします。

週休2日は通過点
進もう誰もが憧れる建設業へ



年末年始無災害運動 ～基本動作の徹底 年末年始も無災害～

中央労働災害防止協会（中災防）は、「今年もやります！ 基本作業の徹底 年末年始も無災害」をスローガンに、令和6年12月1日～令和7年1月15日までの期間において「年末年始無災害運動」を展開しております。自身の安全・健康の確保はもちろん、周囲の仲間とも声を掛け合って、皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、明るい新年を笑顔で迎えらるよう取り組むことが大切です。


《 年末年始の災害防止を徹底しよう！ 》

非常作業時の災害を防ぐ！

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備
作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門ら関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

作業開始前ミーティング
作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。必要な保護具の着用も忘れずに。



- 1 起動スイッチ等に施錠。（参考／グループロックアウト方式：複数人がキーを持ち、全員のキーが揃わなければ機械が起動しない方法）
- 2 暗い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。
- 3 動力を遮断し（電源を切り）、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」など目立つように表示する。
- 4 チェックリストなどを使って漏れなく点検。指差し呼称で手順や安全の状態を確認する。


作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告

合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

作業が終了したら…

- ・無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどを元に戻して、作業場を整理・整頓。
- ・ヒヤリ・ハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。


脚立作業のポイント



- 1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。
- 2 脚立は水平な安定した場所に設置する。
- 3 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止め金具を確実にロックする。
- 4 踏さん上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて姿勢を安定させる。つま先立ちも危険！
- 5 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。
- 6 脚立は原則として2m未満のものを使う。

健康管理をしっかりと


冬は身体が冷える上、年末年始は生活リズムも不規則になりがちで、体調を崩しやすくなります。いつも以上に健康状態に気を付けて、免疫機能を高める工夫をしましょう。



- からだを温める
- 睡眠をしっかりとる
- 適度な運動
- バランスの良い食事
- 体調の悪いときは無理しない

転倒に注意！

慌ただしい年末年始は、転倒などにつながる不安定な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確保しましょう。



チェックしてみよう！ 例えば…

- 通路や出入り口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉類はその都度取り除いているか
- 安全に移動できるように、十分な明るさ（照度）が確保されているか
- 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 段差のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー（標識）を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 「歩きスマホ」など足元から注意がそれる行動をしていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

※中災防「年末年始無災害運動」リーフレットより抜粋

特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増します。また、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなっています。そのため、各事業場においては、非常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施が一層重要です。また転倒・腰痛災害予防のため、身体機能の維持向上のための取り組みや、感染症予防を含めた労働者の健康管理にも全員で取り組むことが大切であることから、より一層の基本動作の徹底を図りましょう。